

当社グループのお客さま本位の業務運営に関する取組み状況

■めぶきフィナンシャルグループ（以下、「めぶきF G」）は、お客さま本位の業務運営に関する取組み状況（注）を定期的に公表するとともに、商品・サービスのさらなる向上に向けた取組みを実施してまいります。

（注）めぶきF Gでは、お客さま本位の業務運営に関する基本方針（以下、「基本方針」）を踏まえ、お客さま本位の業務運営に関する取組みの実践を客観的に確認・評価する指標（K P I）を設定し、定期的に公表することとしております。なお、めぶきF Gでは、お客さま本位の取組みの一層の徹底、さらなる高度化を図るため、2025年6月30日付で基本方針を改定しております（本取組み状況につきましては、改定前の基本方針に基づく取組み状況となっております）。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

1. お客さまの最善の利益の追求

（1）お客さまの最善の利益の実現に向けたご支援に取り組む企業文化の定着に取り組んでまいります。

2. 利益相反の適切な管理

（1）当社グループとお客さまとの利益相反を防止するため、利益が相反する可能性を正確に把握し、適切な管理を行ってまいります。

3. 手数料等の明確化

（1）お客さまにご負担いただく手数料等については、分かりやすく丁寧な情報提供を行ってまいります。

4. お客さま本位の情報提供

（1）商品の特性やリスク、手数料等の重要な情報をわかりやすく提供するため、「重要情報シート」等を活用し、お客さまの理解度に応じた丁寧な説明をいたします。

（2）経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

5. お客さま本位のコンサルティングの実践

（1）お客さまの最善の利益の実現を支援するため、グループ総合力を最大限に活用したコンサルティングを行ってまいります。

（2）多様化するお客さまの目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

（3）お客さまとの接点となる多様なチャネルの整備・拡充により、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

（4）運用状況や市場環境を踏まえたタイムリーな情報提供と丁寧なアフターフォローを行ってまいります。

（5）お客さまの金融リテラシー向上に向けた取組みを行ってまいります。

6. お客さま本位の販売態勢の整備

（1）お客さま本位の営業活動を促す業績評価体系の整備を行ってまいります。

（2）多様化・高度化するお客さまニーズにお応えするため、プロフェッショナルな人材の育成を行ってまいります。

（3）お客さま本位の業務運営態勢の確保に向けたガバナンス体制の整備を行ってまいります。

当社グループのお客さま本位の業務運営に関する取組み状況

【目次】基本方針に基づく取組状況と計数指標

【基本方針】	【計数指標】	【対応する原則】※	
1. お客さまの最善の利益の追求	①②③④⑤⑥⑦	原則 2	P 4～P 17
2. 利益相反の適切な管理	⑧⑨⑩	原則 3、6	P 18～P 19
3. 手数料等の明確化	—	原則 4	P 20
4. お客さま本位の情報提供	—	原則 5	P 21～P 25
5. お客さま本位のコンサルティングの実践	⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰	原則 6	P 26～P 33
6. お客さま本位の販売態勢の整備	⑱	原則 7	P 34～P 35

※【対応する原則】は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2024年9月改訂）との対応を示しております。

計数指標一覧

- | | |
|--|-----------------------------------|
| ①顧客満足度 | ⑪投資信託販売に占める毎月分配型の販売比率 |
| ②預り資産保有残高および預り資産契約者数の推移 | ⑫投資信託販売に占める積立投信の販売比率 |
| ③積立商品の契約者数推移 | ⑬めぶきファンドラップの契約者数・契約金額 |
| ④投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率 【共通KPI】 | ⑭投資信託商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績 |
| ⑤投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン 【共通KPI】 | ⑮保険商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績 |
| ⑥外貨建保険評価損益別顧客比率 【共通KPI】 | ⑯お客さまセミナーの実施状況 |
| ⑦外貨建保険銘柄別コストリターン 【共通KPI】 | ⑰年代別のNISA口座数 |
| ⑧取扱投資運用会社数・取扱保険会社数の推移 | ⑱ファイナンシャル・プランニング(F P)技能士資格保有者数の推移 |
| ⑨投資信託販売金額上位10商品 | |
| ⑩保険販売金額上位5商品 | |

※共通KPIは、2018年6月に金融庁から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」および2022年1月に金融庁から公表された「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて」に基づく指標です。

基本方針に基づく取組状況

1. お客様の最善の利益の追求

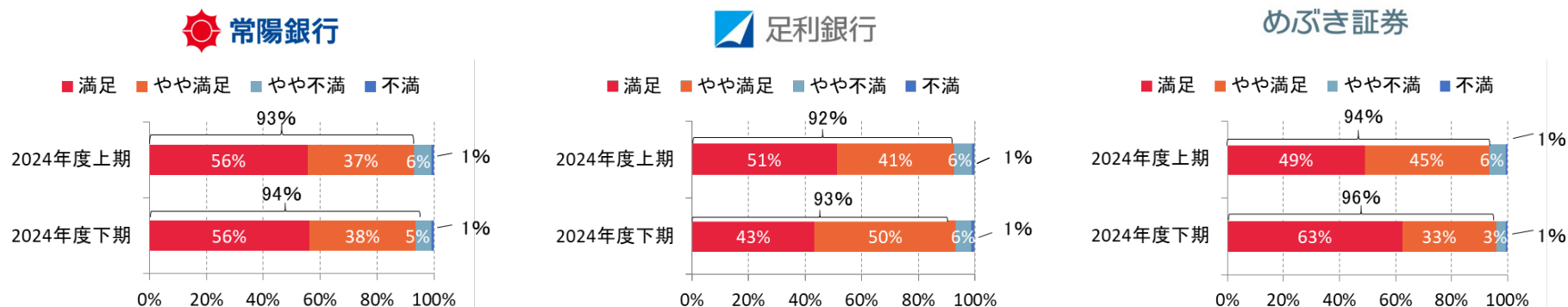
(1)お客様の最善の利益の実現に向けたご支援に取り組む企業文化の定着に取り組んでまいります。

めぶきF Gでは、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針（以下、「基本方針」）」に掲げているとおり、「お客さまの安定的な資産形成を実現」することが、お客さまの最善の利益になると考え、常にお客さま本位で行動しております。

基本方針の浸透を図るため、経営陣からの発信や営業担当者向けの定例会議、内部管理責任者向けの研修等におきまして、お客さま本位の業務運営に関して周知・徹底をしております。

①顧客満足度

お客さまの満足度を把握するため、定期的にお客さまアンケートを実施しております。直近の店頭（渉外含む）購入者向けアンケートでは、担当者の商品説明力や提案力等に対して、9割超のお客さまに「満足」「やや満足」とご回答いただいております。



※対象者：アンケートを実施した期（2024年度上期または2024年度下期）の前の期（6カ月間）に投資信託または保険商品をご購入いただいた個人のお客さま等から無作為に抽出。

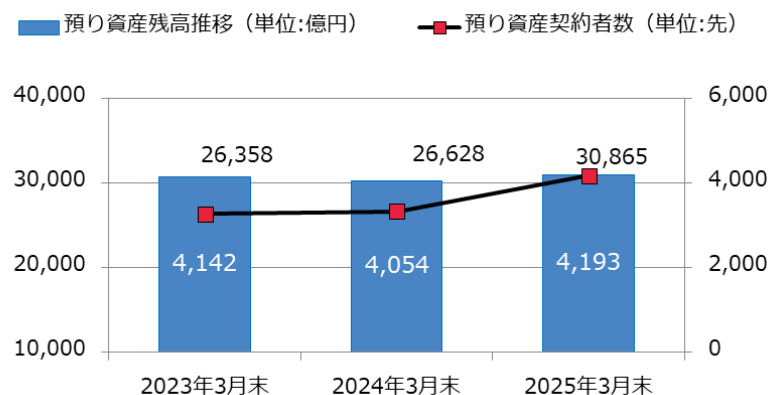
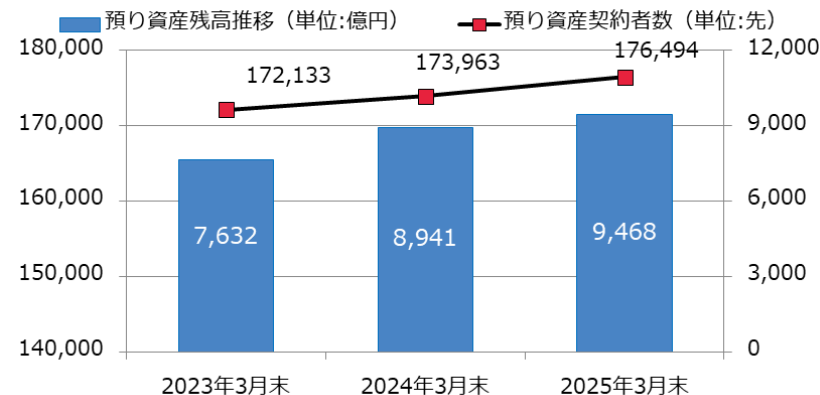
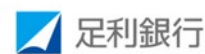
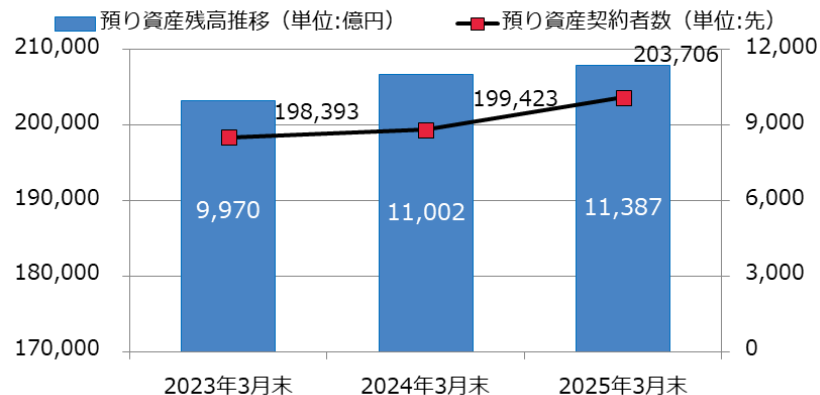
<2024年度下期アンケート実施概要>

- 常陽銀行 …店頭（渉外含む）購入者：2,100名、うち917名回答(回収率43.6%)
- 足利銀行 …店頭（渉外含む）購入者：2,100名、うち593名回答(回収率28.2%)
- めぶき証券 …店頭（渉外含む）購入者：663名、うち274名回答(回収率41.3%)

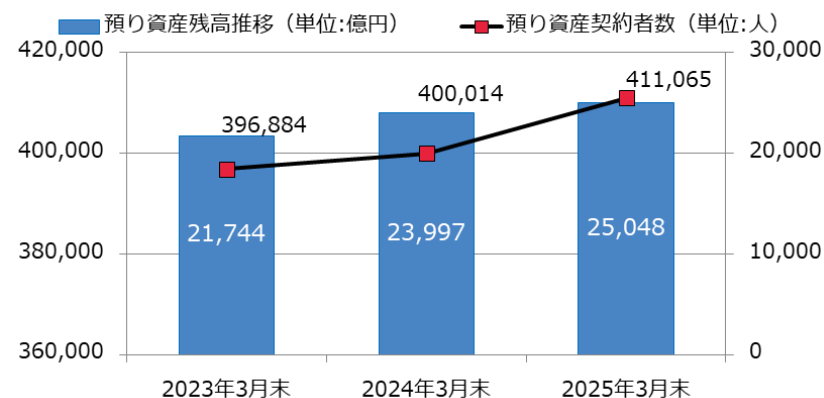
1. お客様の最善の利益の追求

②預り資産残高および預り資産契約者数の推移

グループ全体では、投資信託を中心に預り資産残高(※)および預り資産契約者数は前年度比増加となっております。



3 社合計



※預り資産残高 常陽銀行・足利銀行：投資信託＋保険＋外貨預金＋外国債券＋公共債
めぶき証券：投資信託＋国内外債券＋外貨MMF＋MRF

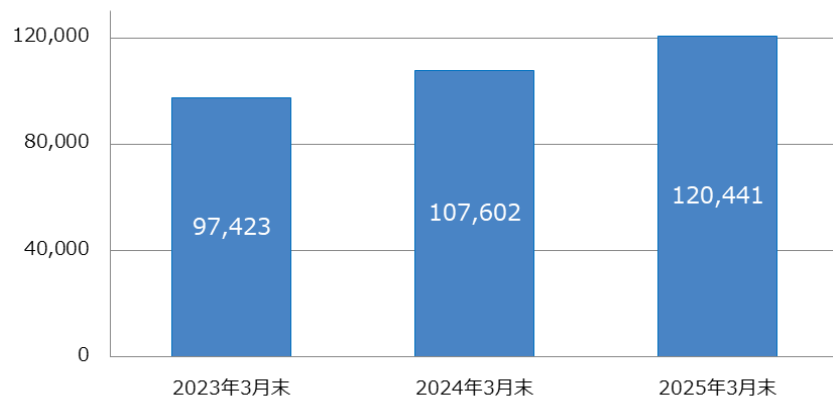
1. お客様の最善の利益の追求

③積立商品の契約者数推移

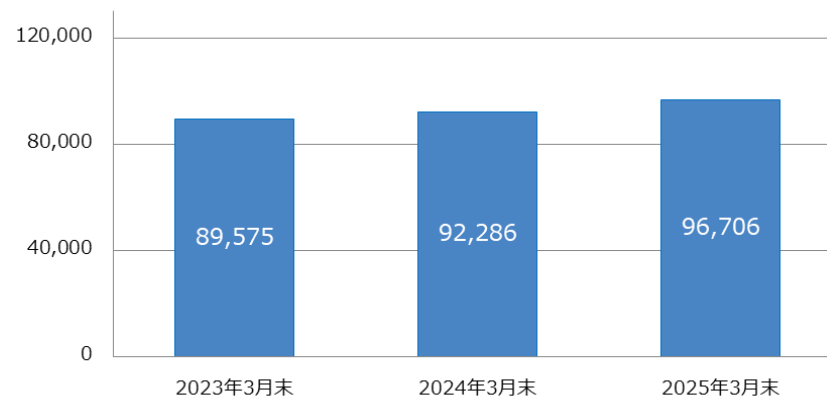
お客様の安定的な資産形成をご支援するため、長期・分散・積立のご提案に努めております。各社とも積立商品の契約者数は増加しております。



単位：人

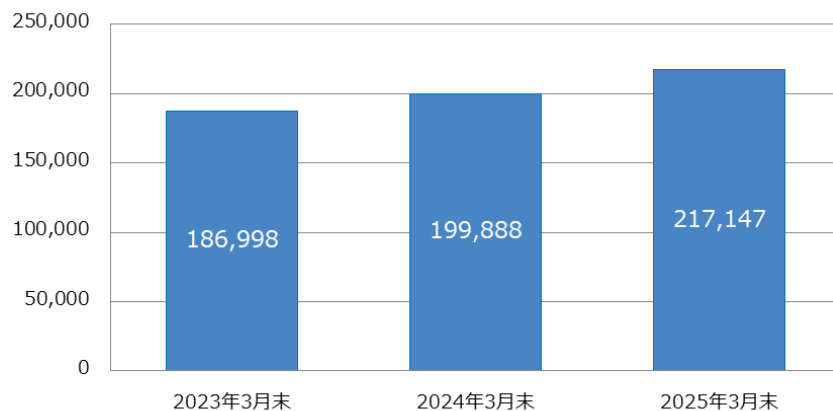


単位：人



2 社合算

単位：人



※積立商品 = 積立投信 + 平準払保険 + 外貨積立

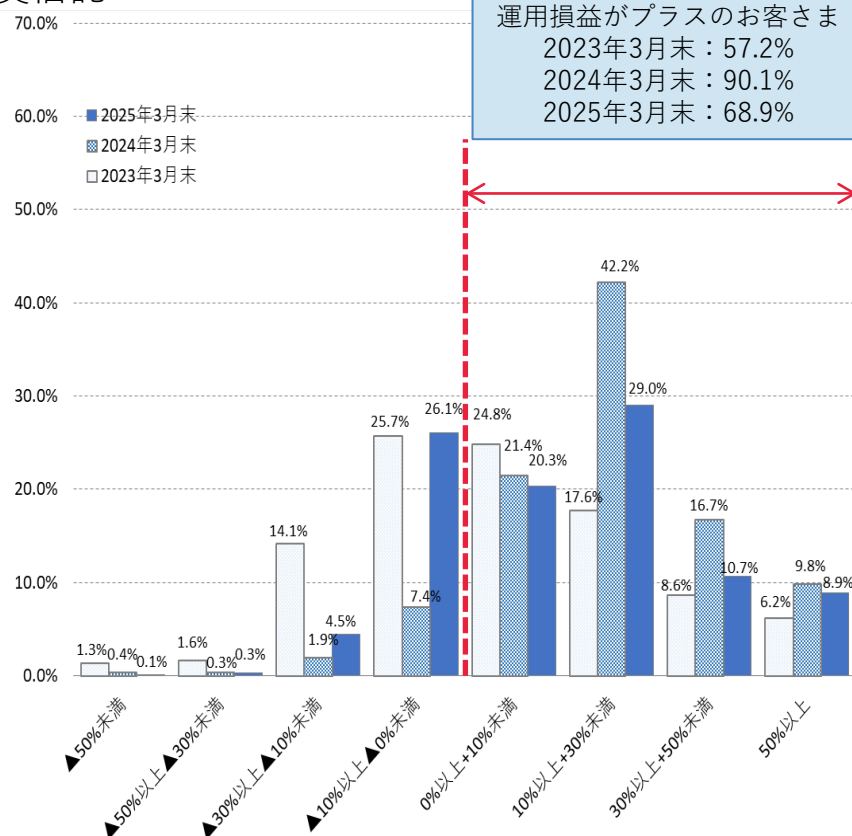
1. お客様の最善の利益の追求

④投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率 共通KPI

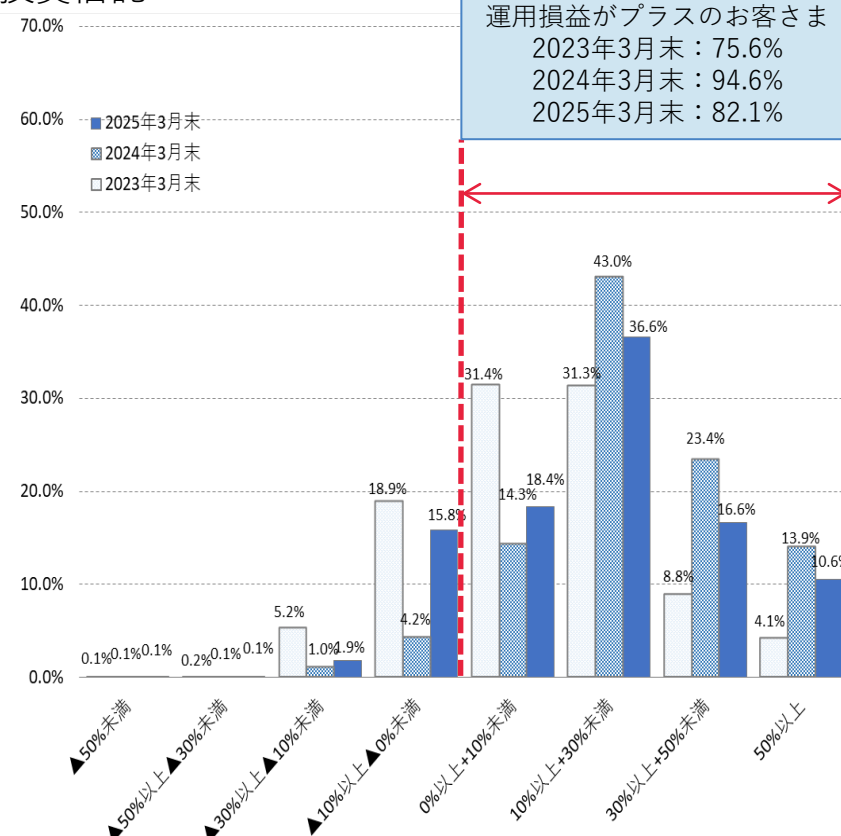
相場環境の影響もあり、各社ともに運用損益が「プラス」となっているお客様の比率は前年度比で低下しております。引き続きお客様へのアフターフォロー等を徹底し、お客様本位の業務運営に努めてまいります。



<投資信託>



<投資信託>



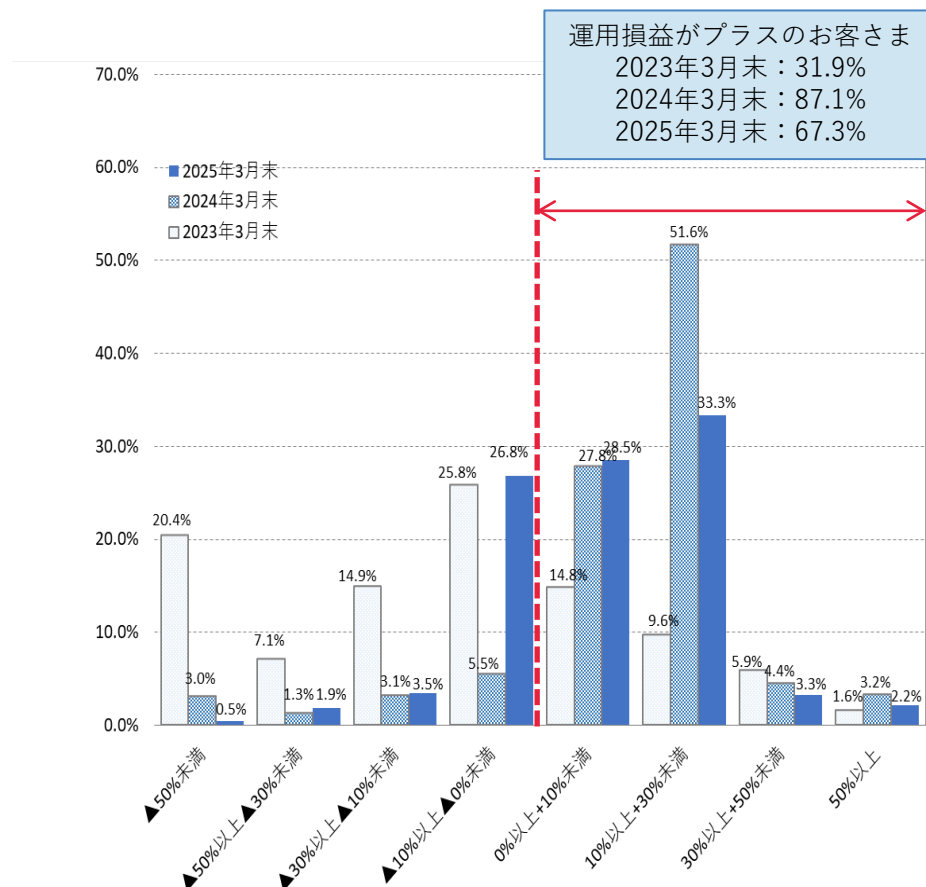
※投資信託は、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、確定拠出年金で買付した投資信託を除く
※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

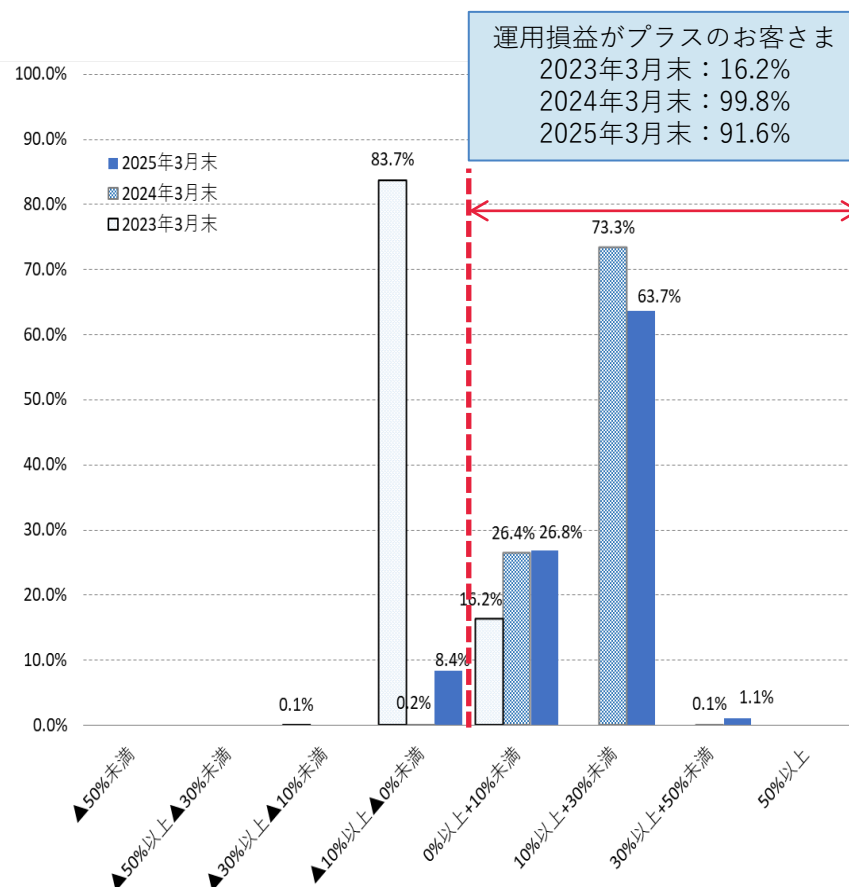
④投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率 共通KPI

めぶき証券

<投資信託>



<ファンドラップ>



※投資信託は、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、確定拠出年金で買付した投資信託を除く

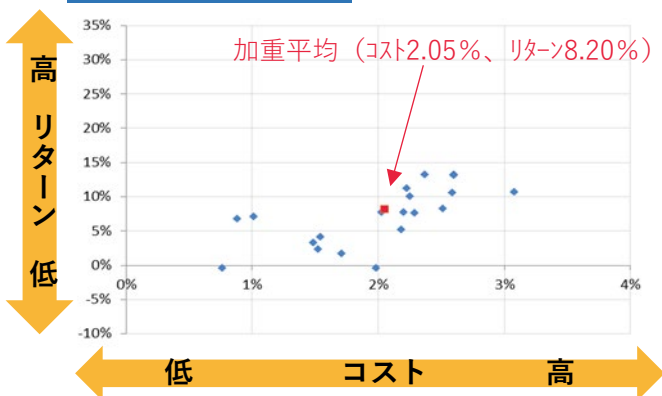
※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

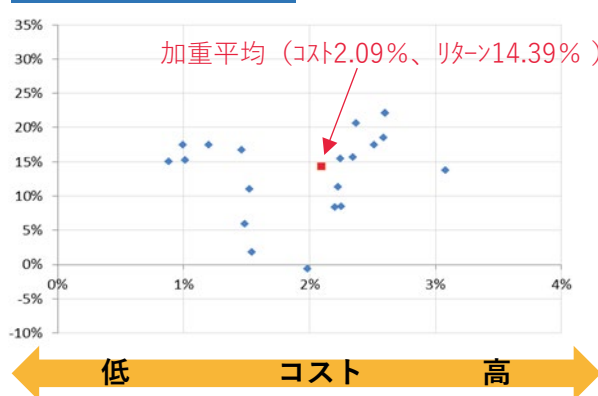
常陽銀行 ⑤投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン 共通KPI

<コスト・リターン>

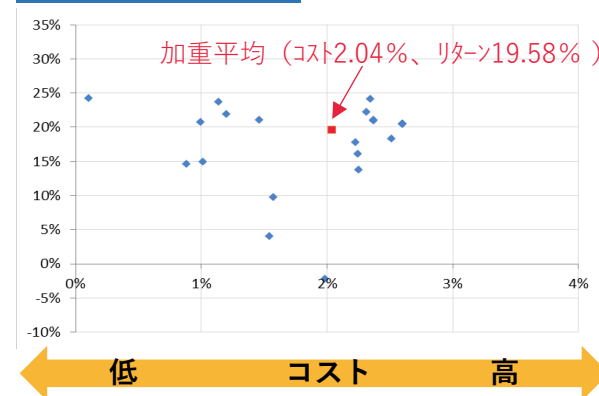
2023年3月末時点



2024年3月末時点

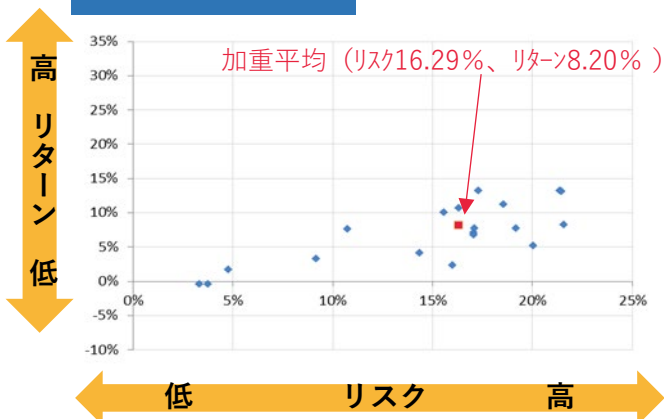


2025年3月末時点

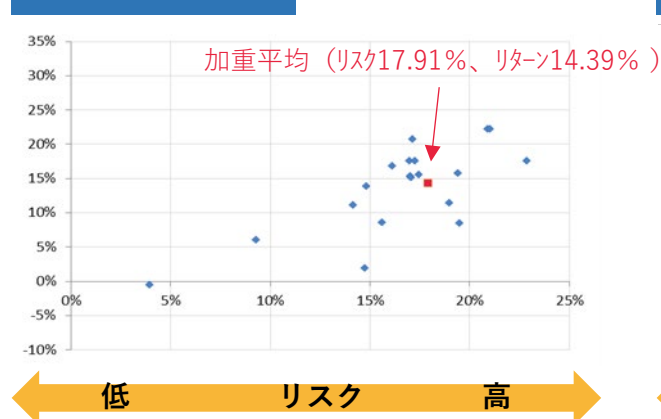


<リスク・リターン>

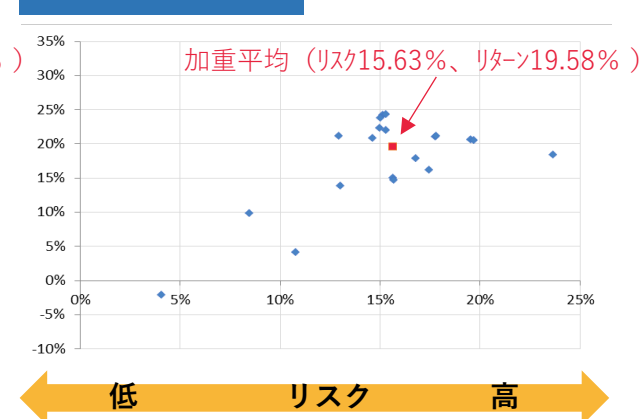
2023年3月末時点



2024年3月末時点



2025年3月末時点



※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

<投資信託預り残高上位20銘柄（2025年3月末時点）>

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>（毎月決算型）	2.34%	15.12%	24.15%
2	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22%	16.77%	17.80%
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	19.53%	20.57%
4	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.25%	12.99%	13.82%
5	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99%	14.62%	20.83%
6	野村未来トレンド発見ファンド（愛称：先見の明）Dコース・予想分配型	2.37%	17.73%	21.02%
7	日興インデックスファンド225	1.01%	15.62%	15.00%
8	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	8.43%	9.83%
9	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）	2.24%	17.42%	16.17%
10	日経平均高配当利回り株ファンド	1.13%	15.01%	23.78%
11	次世代通信関連世界株式戦略ファンド（愛称：THE 5G）	2.51%	23.64%	18.41%
12	フィデリティ世界割安成長株投信B為替ヘッジなし	2.31%	14.96%	22.23%
13	野村未来トレンド発見ファンド（愛称：先見の明）Bコース・為替ヘッジなし	2.37%	17.79%	21.09%
14	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	19.68%	20.51%
15	日本好配当リバランスオープン	1.46%	12.93%	21.14%
16	日経225ノーロードオープン	0.88%	15.65%	14.63%
17	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%
18	ニッセイリーRETファンド（毎月決算型）	1.54%	10.77%	4.12%
19	投資のソムリエ	1.98%	4.03%	▲2.16%
20	SMTAMダウ・ジョーンズ インデックスファンド	1.20%	15.28%	21.95%
上位20銘柄の残高加重平均		2.04%	15.63%	19.58%

※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く

※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均

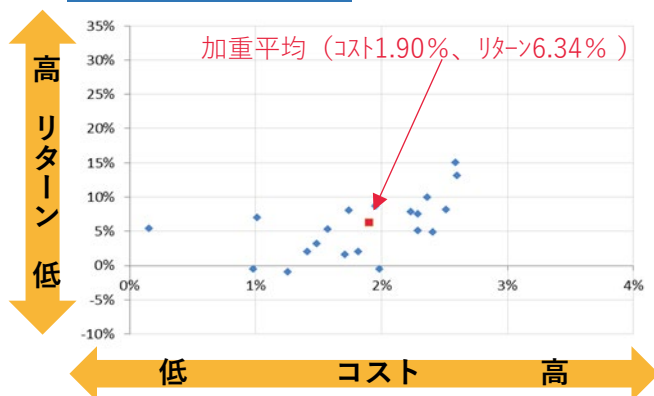
※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

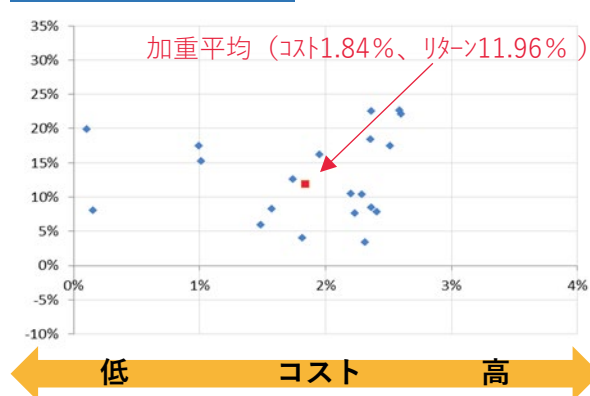
足利銀行 ⑤投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン 共通KPI

<コスト・リターン>

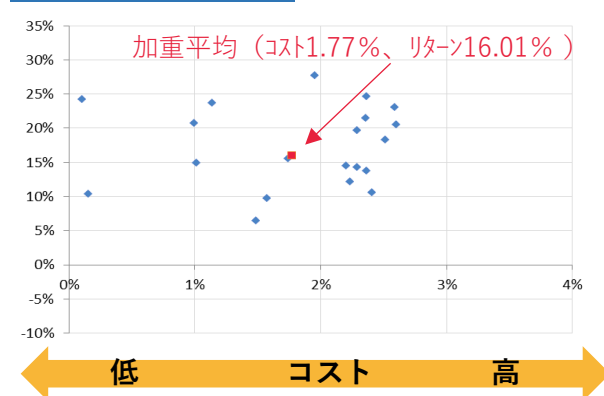
2023年3月末時点



2024年3月末時点

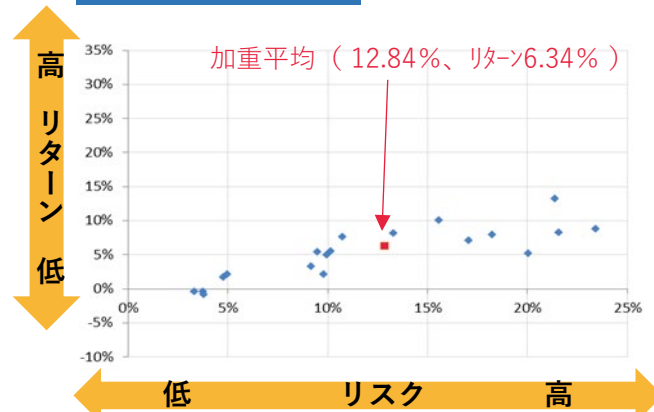


2025年3月末時点

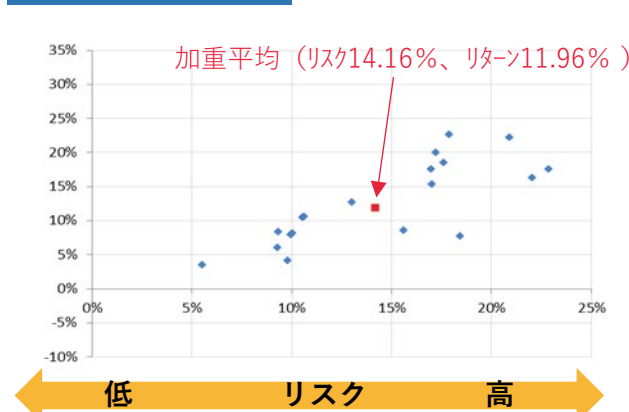


<リスク・リターン>

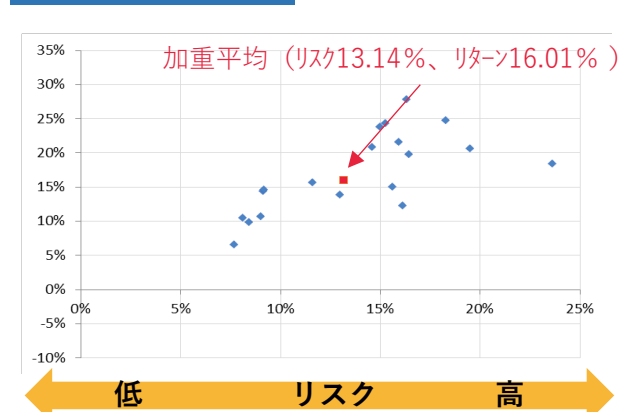
2023年3月末時点



2024年3月末時点



2025年3月末時点



※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

<投資信託預り残高上位20銘柄（2025年3月末時点）>

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	のむラップ・ファンド(普通型)	1.57%	8.43%	9.83%
2	のむラップ・ファンド(積極型)	1.74%	11.61%	15.64%
3	米国株式配当貴族(年4回決算型)	0.99%	14.62%	20.83%
4	フィデリティ・U S ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型) B (為替ヘッジなし)	2.29%	9.14%	14.34%
5	新光U S - R E I T オープン	2.23%	16.15%	12.28%
6	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.36%	12.99%	13.82%
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	19.53%	20.57%
8	フィデリティ・米国株式ファンド B コース(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.36%	18.28%	24.67%
9	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)	1.49%	7.71%	6.56%
10	キャピタル世界株式ファンド	2.35%	15.95%	21.57%
11	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.51%	23.64%	18.41%
12	インデックスファンド225	1.01%	15.62%	15.00%
13	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%
14	イーストスプリング・インド株式オープン	1.95%	16.33%	27.79%
15	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	0.15%	8.14%	10.48%
16	グローバル A I ファンド	2.59%	27.28%	23.07%
17	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.40%	9.05%	10.67%
18	日経平均高配当利回り株ファンド	1.13%	15.01%	23.78%
19	ひふみワールド+	2.29%	16.47%	19.75%
20	フィデリティ・U S ハイ・イールド・ファンド(資産成長型) D (為替ヘッジなし)	2.20%	9.19%	14.51%
上位20銘柄の残高加重平均		1.77%	13.14%	16.01%

※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

めぶき証券

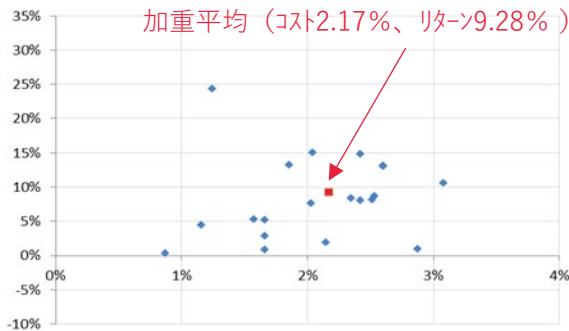
⑤投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

共通KPI

<コスト・リターン>

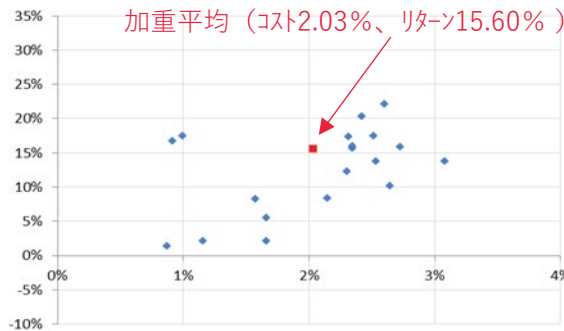
2023年3月末時点

加重平均（コスト2.17%、リターン9.28%）



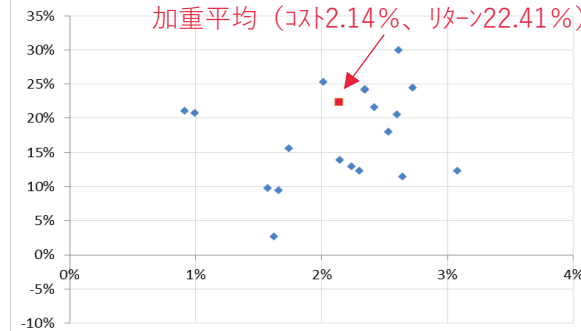
2024年3月末時点

加重平均（コスト2.03%、リターン15.60%）



2025年3月末時点

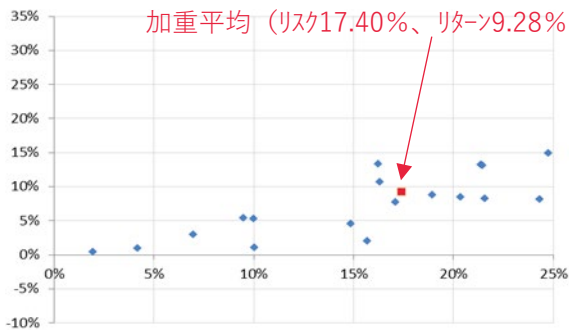
加重平均（コスト2.14%、リターン22.41%）



<リスク・リターン>

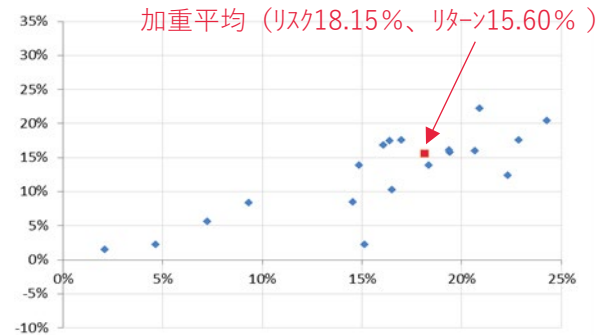
2023年3月末時点

加重平均（リスク17.40%、リターン9.28%）



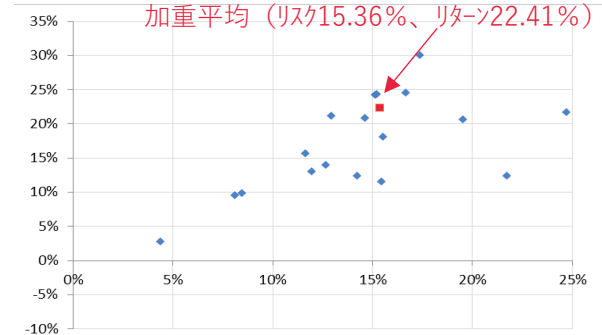
2024年3月末時点

加重平均（リスク18.15%、リターン15.60%）



2025年3月末時点

加重平均（リスク15.36%、リターン22.41%）



※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

<投資信託預り残高上位20銘柄（2025年3月末時点）>

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>（毎月決算型）	2.34%	15.12%	24.15%
2	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99%	14.62%	20.83%
3	インベスコ世界厳選株式オープン<為替Hなし>（年1回決算型）	2.34%	15.21%	24.23%
4	日本好配当リバランスオープン	0.91%	12.93%	21.14%
5	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	8.43%	9.83%
6	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.21%	12.31%
7	（年3%目標払出）のむラップ・ファンド（普通型）	1.66%	8.09%	9.47%
8	FANG+インデックス・オープン	1.24%	28.72%	39.03%
9	Oneピュア・インド株式ファンド	2.72%	16.64%	24.49%
10	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.42%	24.71%	21.67%
11	インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド	2.01%	38.23%	25.32%
12	世界インパクト投資ファンド	2.53%	15.52%	18.05%
13	インバウンド関連日本株ファンド	2.15%	12.65%	13.96%
14	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	2.60%	19.53%	20.57%
15	ピクテ・バイオ医薬品F（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	2.64%	15.45%	11.47%
16	世界スタートアップ&イノベーション株式ファンド	2.30%	21.71%	12.30%
17	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74%	11.61%	15.64%
18	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド（毎月決算型）	2.24%	11.92%	12.96%
19	グローバル8資産ラップファンド（安定型）	1.62%	4.35%	2.68%
20	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	17.35%	30.04%
上位20銘柄の残高加重平均		2.14%	15.36%	22.41%

※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く

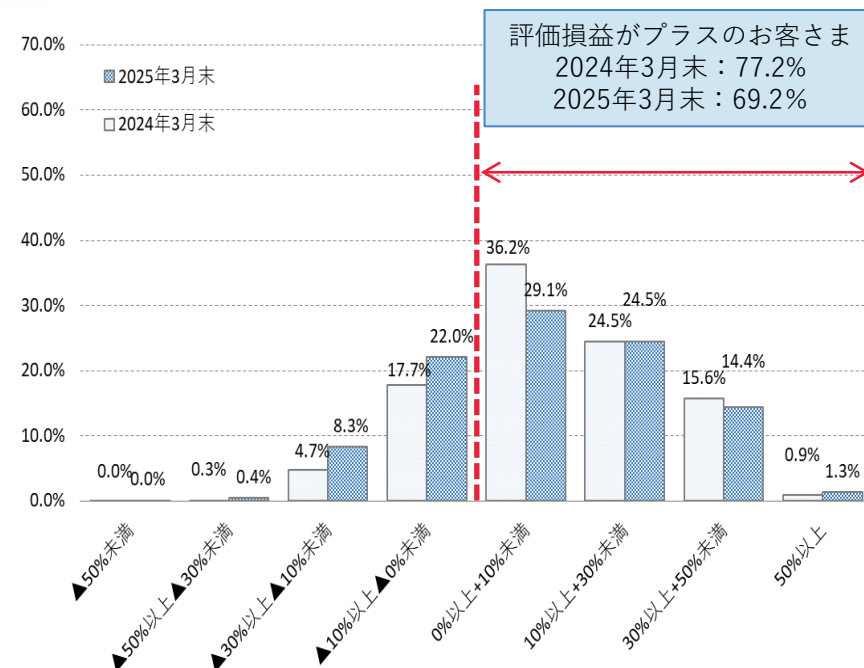
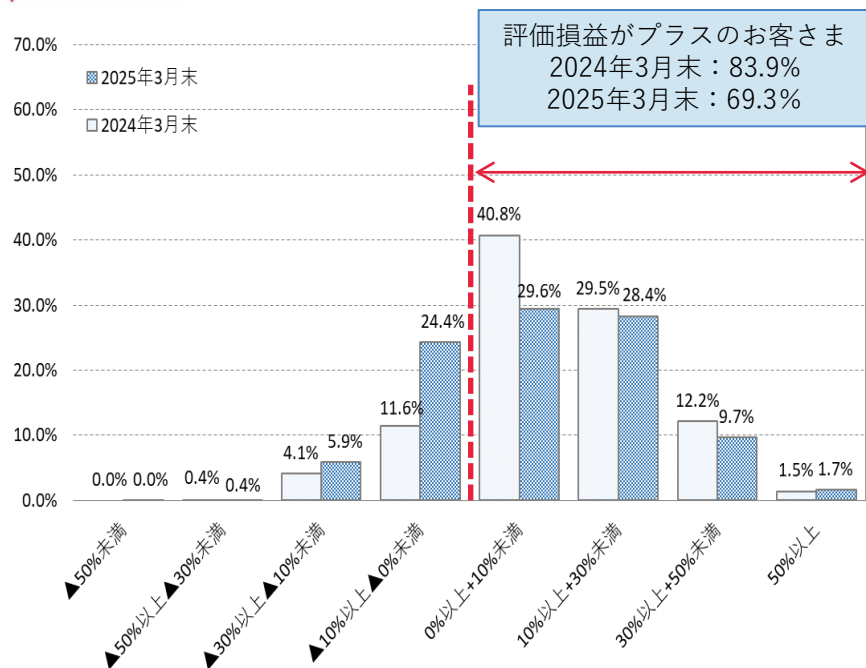
※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均

※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

⑥外貨建保険評価損益別顧客比率 共通KPI

年度中の為替相場変動の影響を大きく受け、評価損益が「プラス」のお客様は前年度末対比で減少し、約69%となっております。



- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の評価損益をお約束するものではありません

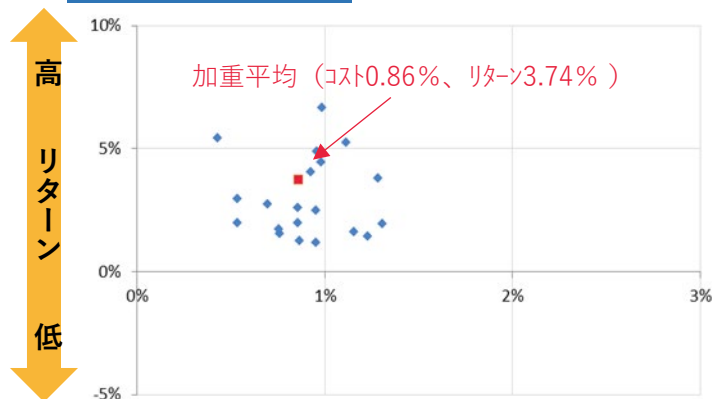
1. お客様の最善の利益の追求

常陽銀行 ⑦外貨建保険銘柄別コスト・リターン 共通KPI

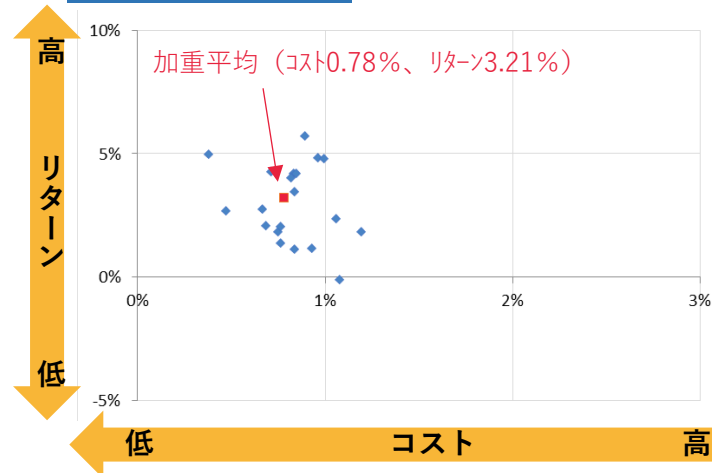
<コスト・リターン>

<銘柄一覧>

2024年3月末時点



2025年3月末時点



順位	ファンド名	コスト	リターン
1	やさしさ、つなぐ	0.69%	2.08%
2	サニーガーデンE X	0.83%	4.20%
3	プレミアレシーブ (外貨建)	0.67%	2.76%
4	生涯プレミアムワールド5	0.82%	4.02%
5	ファイブ・ステップU S	0.38%	4.99%
6	ふるはーとJロードグローバル	0.85%	4.19%
7	ロングドリームGOLD2	0.90%	5.73%
8	ビー ウィズ ユー プラス	1.08%	▲0.10%
9	しあわせ、ずっと	0.75%	1.85%
10	ロングドリームGOLD3	0.96%	4.83%
11	えがお、ひろがる	0.84%	1.15%
12	プレミアプレゼント	0.93%	1.19%
13	しあわせ、ずっと2	1.00%	4.81%
14	外貨建エブリバディプラス	0.72%	4.26%
15	生涯プレミアムワールド4	0.77%	2.04%
16	三大陸	0.48%	2.71%
17	ふるはーとJグローバルII	1.06%	2.38%
18	プレミアカレンシー・プラス2	0.84%	3.45%
19	プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	0.77%	1.39%
20	あしたの、よろこび	1.20%	1.85%
上位銘柄 (最大20銘柄) の残高加重平均		0.78%	3.21%

※対象契約は、保険契約開始から60か月以上経過した契約、コストは、各契約について保険会社が支払う代理店手数料のうち新契約手数料率と継続手数料率を年率換算、リターンは各契約の購入時以降のリターンを年率換算し算出
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の評価損益をお約束するものではありません

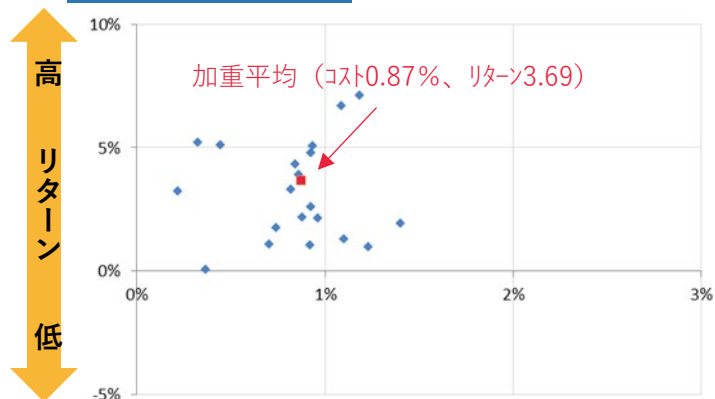
1. お客様の最善の利益の追求

足利銀行 ⑦外貨建保険銘柄別コスト・リターン 共通KPI

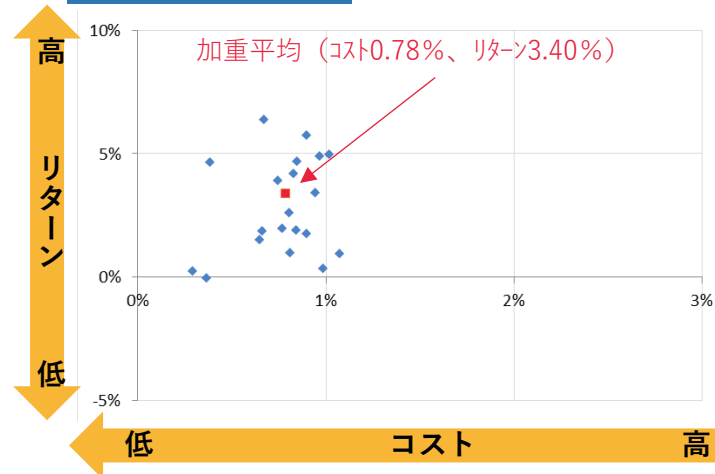
<コスト・リターン>

<銘柄一覧>

2024年3月末時点



2025年3月末時点



順位	ファンド名	コスト	リターン
1	プレミアシップ (外貨建)	0.75%	3.94%
2	やさしさ、つなぐ	0.66%	1.89%
3	プレミアプレゼント	0.81%	2.63%
4	ロングドリームGOLD2	0.90%	5.77%
5	ロングドリームGOLD3	0.97%	4.93%
6	ビー ウィズ ユー プラス	0.99%	0.35%
7	ファイブ・ステップUS	0.38%	4.66%
8	しあわせ、ずっと	0.77%	2.00%
9	プレミアカレンシー・プラス2	0.85%	4.71%
10	しあわせ、ずっと2	1.02%	4.98%
11	えがお、ひろがる	0.81%	0.98%
12	ふるはーとJロードグローバル	0.83%	4.22%
13	ファイブ・ステップ セレクト	0.29%	0.26%
14	プレミアジャンプ3・年金 (外貨建)	1.07%	0.95%
15	ロングドリームGOLD	0.65%	1.52%
16	外貨建エブリバディプラス	0.67%	6.38%
17	生涯プレミアムワールド5	0.95%	3.42%
18	ロングドリームプラス	0.37%	▲0.01%
19	プレミアカレンシー3	0.90%	1.79%
20	プレミアジャンプ2・年金 (外貨建)	0.84%	1.91%
上位銘柄 (最大20銘柄) の残高加重平均		0.78%	3.40%

※対象契約は、保険契約開始から60か月以上経過した契約、コストは、各契約について保険会社が支払う代理店手数料のうち新契約手数料率と継続手数料率を年率換算、リターンは各契約の購入時以降のリターンを年率換算し算出
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の評価損益をお約束するものではありません

2. 利益相反の適切な管理

(1) 当社グループとお客さまとの利益相反を防止するため、利益が相反する可能性を正確に把握し、適切な管理を行ってまいります。

めぶき F G 各社における商品・サービス提供に伴い、お客さまの利益が不当に損なわれることがないように、グループ利益相反管理方針を制定し、あわせて営業部門から独立した利益相反管理全般を統括する部署を設置することで、適切に利益相反管理を行っております。

また、特定の投信運用会社・保険会社に偏ることがないように商品選定を行っております。なお、めぶき F G 内には、投信運用会社・保険会社はございません。

⑧取扱投資運用会社数・取扱保険会社数の推移

		常陽銀行	足利銀行	めぶき証券
投資運用会社	2023年3月末時点	18社	26社	22社
	2024年3月末時点	19社	26社	21社
	2025年3月末時点	20社	26社	22社
保険会社	2023年3月末時点	22社	22社	
	2024年3月末時点	22社	22社	
	2025年3月末時点	22社	22社	

2. 利益相反の適切な管理

⑨投資信託販売金額上位10商品

お客さまにご購入いただいた投資信託の販売金額上位10銘柄は以下のとおりです。
投資対象は、株式、バランス型等に分散されております。



順位	商品名	投資対象	決算回数 (回/年)
1	日経225ノーロードオープン	国内株式	1
2	日経平均高配当利回り株ファンド	国内株式	2
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	海外株式	2
4	野村未来トレンド発見ファンド(愛称:先見の明) Dコース・為替ヘッジなし	海外株式	12
5	のむらッ・ファンド(普通型)	バランス	1
6	あおぞら・新グローバル・プレミアム・ファンド(当初漸増期間付、 限定追加型)2024-01(愛称:ぜんぞうプラス2401)	バランス	1
7	インデックスファンドNASDAQ100(アメリカ株式)	海外株式	1
8	あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2024-04(愛 称:ぜんぞう2404)	バランス	1
9	はじめてのNISA・米国株式インデックス(S&P500)	海外株式	1
10	のむらッ・ファンド(積極型)	バランス	1

順位	商品名	投資対象	決算回数 (回/年)
1	のむらッ・ファンド(積極型)	バランス	1
2	のむらッ・ファンド(普通型)	バランス	1
3	野村インデックスファンド・日経225 【愛称:Funds-i 日経225】	国内株式	1
4	米国株式配当貴族(年4回決算型)	海外株式	4
5	フィデリティ米国株式ファンド Bコース (資産成長型・為替ヘッジなし)	海外株式	1
6	日興インデックスファンド225	国内株式	1
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	海外株式	2
8	キャピタル世界株式ファンド	海外株式	1
9	日経平均高配当利回り株ファンド	国内株式	2
10	野村インデックスファンド・外国株式 【愛称:Funds-i 外国株式】	海外株式	1

順位	商品名	投資対象	決算回数 (回/年)
1	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし> (毎月決算型)	海外株式	12
2	MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(標準型)	バランス	1
3	インベスコ世界厳選株式オープン<為替Hなし> (年1回決算型)	海外株式	1
4	MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(積極型)	バランス	1
5	米国株式配当貴族(年4回決算型)	海外株式	4
6	日本好配当リバランスオープン2	国内株式	4
7	日本企業PBR向上ファンド	国内株式	2
8	FANG+インデックス・オープン	海外株式	1
9	半導体関連 世界株式戦略ファンド	海外株式	1
10	のむらッ・ファンド(普通型)	バランス	1

⑩保険販売金額上位5商品

お客さまにご購入いただいた保険商品の販売金額上位5商品は以下のとおりです。
特定の保険会社への販売の偏りは見られませんでした。



順位	商品名	保険会社名	販売割合	種類
1	エブリバディプラス	明治安田生命保険	20.1%	定額終身
2	あしたの、よろこび	三井住友海上プライマリー生命	13.8%	定額年金
3	夢ふくらむ終身	ニッセイ・ウェルス生命保険	11.8%	定額終身
4	やさしさ、つなぐ	三井住友海上プライマリー生命	7.0%	定額終身
5	プレミアプレゼント	第一フロンティア生命	5.9%	定額終身

順位	商品名	保険会社名	販売割合	種類
1	悠々時間アドバンス2 plus	ニッセイ・ウェルス生命	45.5%	定額年金
2	まごころつながる終身保険2	PGF生命	12.5%	定額終身
3	長生きMy介護	太陽生命	11.6%	定額終身
4	悠々時間アドバンス2 plus	ニッセイ・ウェルス生命	7.0%	定額年金
5	ビーウィズユープラス II	メットライフ生命	3.4%	定額終身

※円建て保険商品

※外貨建て保険商品

3. 手数料等の明確化

(1) お客さまにご負担いただく手数料等については、分かりやすく丁寧な情報提供を行ってまいります。

めぶき F G 各社において、金融商品販売にあたり頂いております手数料等については、金融商品のご提供にあたり、必要となる商品の開発・選定、提案資料等の作成、アフターフォローまで含めたコンサルティングサービスのご提供、お客さまに安心してご利用いただけるシステムなどの費用を総合的に勘案して設定しております。

また、お客さまに対してより丁寧な説明が必要と考える金融商品については、重要情報シート（個別商品編）を制定し、販売時の手数料、継続保有に伴い生じる手数料に加え、お客さまの金銭の支払はないものの、商品に内包しお客さまの実質的な負担となる費用についても開示しております。

<ご参考> 「めぶきファンドラップ」（投資信託の重要情報シート（個別商品編）より費用欄を抜粋）

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	ありません。	
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	・投資顧問報酬率は固定報酬率とします。 ・投資顧問報酬額は、運用資産の時価評価額等に基づく計算基準額に下記の投資顧問報酬率を乗じた額とし、3ヶ月毎にお支払い頂きます。 ・増額又はサービス・プログラムの変更にかかる契約変更を行う場合には投資顧問報酬の調整を行う場合があります。	
	計算基準額	投資顧問報酬率(年率)(括弧は消費税等込み)
		マスター・プログラム
		ボンドコア・プログラム
	2,000 万円以下の部分	1.20% (1.320%)
	2,000 万円超 5,000 万円以下の部分	1.08% (1.188%)
	5,000 万円超 1 億円以下の部分	0.96% (1.056%)
	1 億円超の部分	0.72% (0.792%)
	上記のほか、間接的にご負担いただく費用として、投資信託の運用管理費用（信託報酬：信託財産に対し最大で年 1.35% (消費税等込み)）、信託財産留保額（最大で信託財産の 0.30%）のほか、売買等の取引費用や監査費用等のその他の費用があります。	
売却（解約）時に支払う費用 (信託財産留保額など)	ありません。	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

4. お客さま本位の情報提供

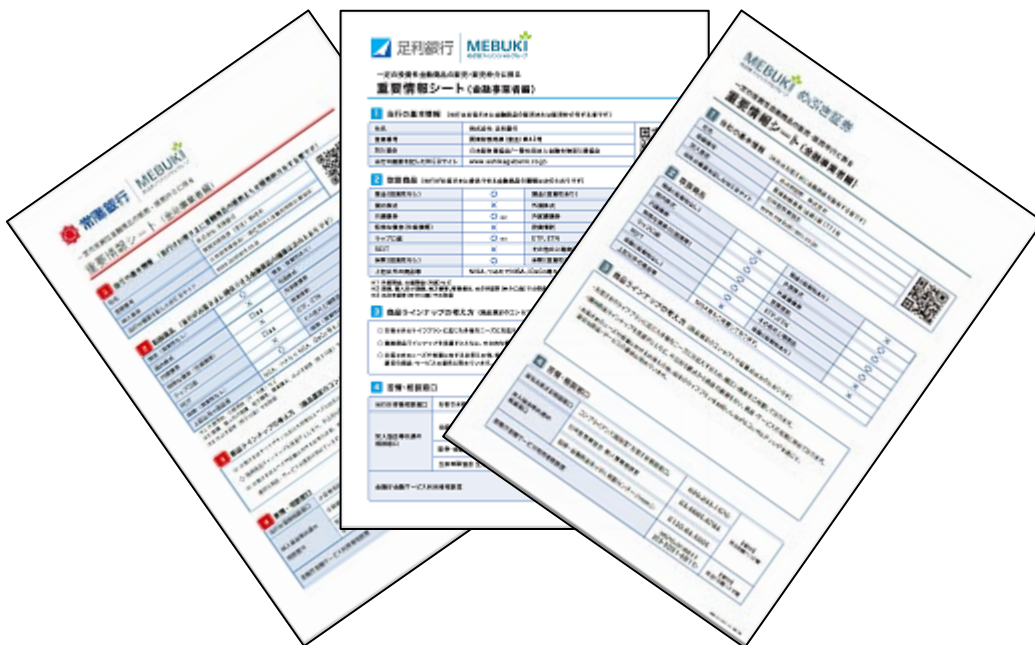
(1) 商品の特性やリスク、手数料等の重要な情報をわかりやすく提供するため、「重要情報シート」等を活用し、お客さまの理解度に応じた丁寧な説明をいたします。

金融商品やサービスの内容、手数料やリスク、取引条件などの重要な情報は、それらの内容が記載されている法定交付書面により、お客さまの理解度に応じ丁寧な説明を行っております。

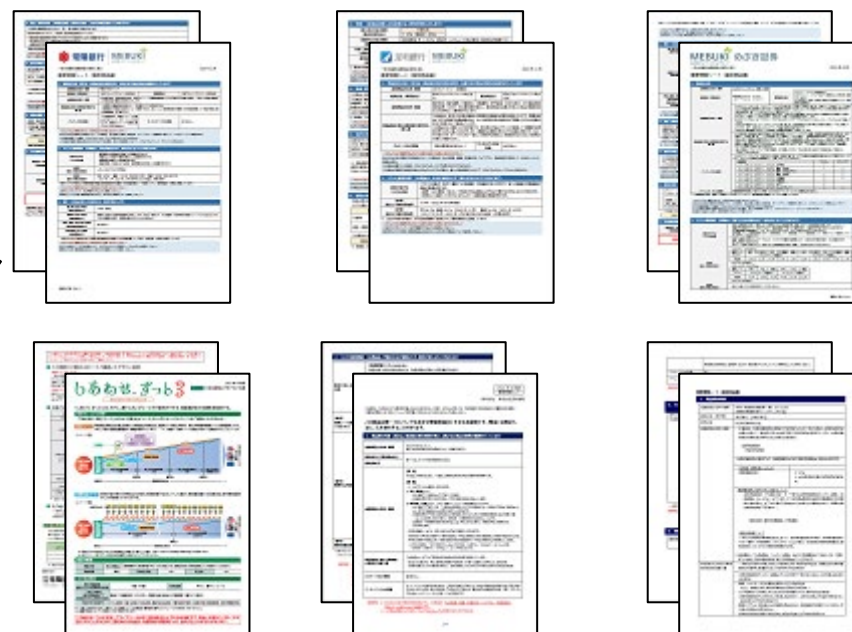
重要情報シート（金融事業者編）に加え、お客さまに対してより丁寧な説明が必要と考える金融商品について重要情報シート（個別商品編）を制定し、活用しております。

<重要情報シート>

金融事業者編



個別商品編

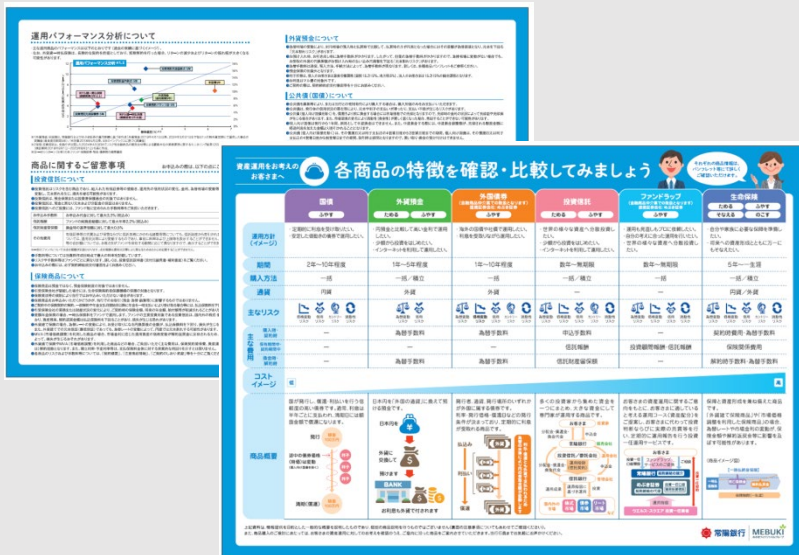


4. お客さま本位の情報提供

(2) 経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

運用商品概要比較シート

商品比較に関する情報提供や商品選択のサポート充実を図っております。



保険証券分析シート



現在ご加入している生命保険の保険証券をご提示いただくと、内容を点検しご相談いただけます。

Wealth Advisor



お客さまのライフステージや、ゴール（目的）にあわせて、最適な投資信託ポートフォリオを提案いたします。

金融教育・セミナーの提供



高校や大学、職場などで金融経済に関する金融教育を提供するほか、NISAや資産形成を中心とした様々な情報を金融セミナーで提供しています。



スマイル・ナビゲーション

簡単な質問に回答いただくことで、関心が高いと思われるニーズと最適な解決事例をご案内いたします。



ジェロントロジー総合冊子



4. お客さま本位の情報提供

(2) 経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

人生100年時代 おかねの参考書

「人生100年時代 おかねの参考書」は、全4冊＋簡易チラシの5部構成で、お客さまの人生における「お金に関する情報」が網羅されております。



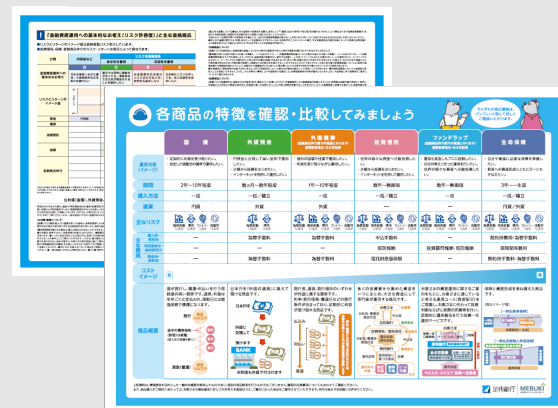
特に、「商品編」では各種金融商品から資産承継サービスまで、お客さまが比較しやすいよう、一般的な商品性が記載されております。

Wealth Advisor



お客さまの「夢や課題」と積立額や保有資産等から、最適な投資信託ポートフォリオを提案いたします。

リスク性金融商品別横比較シート



金融商品別の特性やリスク、手数料等が比較可能な資料となっており、お客さまのニーズや適合性に合った商品をご提案いたします。

金融教育講座の提供



主に中学生から大学生を対象に、金融経済の仕組みや具体的な金融知識の習得を目的とした金融教育講座を提供しています。

お客さま向けセミナーの開催



NISAや資産形成に関する情報提供を目的とした「投信フェア」を開催し、400名を超えるお客さまにご来場をいただきました。また、相続に関するお悩みや対策についてわかりやすく解説する「相続セミナー」や、気軽に参加ができるオンラインセミナー等を定期的に開催しております。

資産承継プランニング



ご資産の管理・承継等にお悩みのお客さまに対しては、ご資産全体を踏まえた総合的な分析、対処策の提案を行うサービス「資産承継プランニング」をご提案しております。

4. お客さま本位の情報提供

(2) 経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

Wealth Advisor

ライフプランや投資信託の入替によるシミュレーション、投資信託のパフォーマンス比較、売買手数料のシミュレーションなどの提供が可能です。



Qr1

リアルタイムでのマーケット情報を提供可能なツール。タイムリーな情報の提供に努めております。



4. お客さま本位の情報提供

(2) 経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

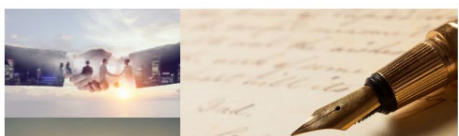
ハウスビュー

相場見通しや商品の運用状況など、一貫性のある投資情報を定期的に提供することで、お客さまの投資判断に必要な情報提供を行っております。

ポートフォリオ提案ツール

ポートフォリオ分析ツールを用いて、お客さまのポートフォリオの現状診断を行い、お客さまの投資意向や目指すゴール、リスク許容度に応じたポートフォリオ提案を行っております。

情報提供ツール



GMAP Summary: Global Macro & Asset alloc

グローバル投資戦略レポート

成長の春風が花散らす嵐か

春
2024年3月

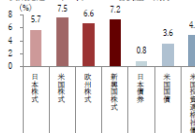
MEBUKI めぶき証券
めぶき証券株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話 03-6261-1111
Web mebukifinance.com

長期の市場見通し

今後10年間（2023～2032年）の世界経済は、過去10年と比べて成長率が低下しよう。急速な高齢化によって中国経済の成長率が低下することが主因だ。

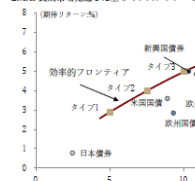
リーマン・ショック以降、低金利と低インフレーションが続いた。もっとも現在は、利上げにまよ、中央銀行が中立金利（景気と物価に中立実金利も上昇するだろう。ただし、実質金利グループも実質金利の低下傾向がここに来てしを前線とする各資産の長期期待リターンは下

長期見通し（10年）による各資産の期待リターン



注：先進国向けは先進国ハイ・イールド債券を示す
出所：後援機関

GMAP長期市場見通しに基づくリスクリターン



注：図中の各タイプは、「グローバル投資戦略レポート」巻末の
資産のリスク・リターン・期待リターンを比較するための「リスク・リターン・期待リターン」
図表（10%を上回るもの）を、先進国向けは先進国ハイ・イールド

図表（10%を上回るもの）を、先進国向けは先進国ハイ・イールド

前回号からの振り返り



■ 景気や企業業績の改善傾向が継続されるが株価は上昇

米国株市場では、底堅い景気と企業業績の改善傾向が継続されるなかで、株価が大きく上昇した。為替相場の円高基調に加え、海外からの資金流入が続いたことで、日本の株式市場でも株価が大幅に上昇した。

米国債券市場では、23年末にかけ米連邦準備理事会（FRB）の利下げ観測が強まり、金利は低下したが、24年以降は市場予想（Bloomberg集計）を上回る経済指標が確認され金利は上昇した。日本では、日銀の政策修正観測が強まるなかで日本の10年国債利回りは0.7%附近で推移している。

REIT市場では、グローバルな金利水準の低下に加え、先行きの世界景気への見通しが改善するなか、グローバルREITの上昇が目立った。

ドム市場では、23年末にかけ米国の利下げ観測が円高要因となったが、その後は早期利下げ期待がやや後退し150円水準まで円安ドル高が進んだ。

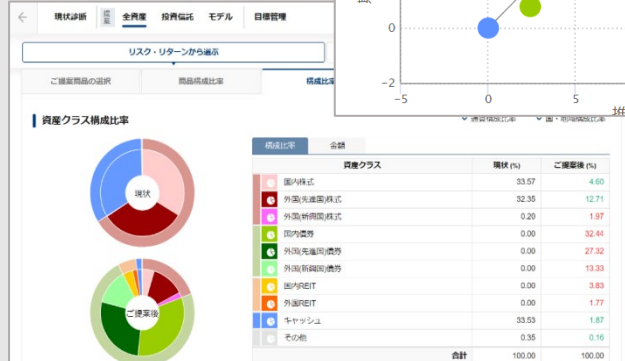
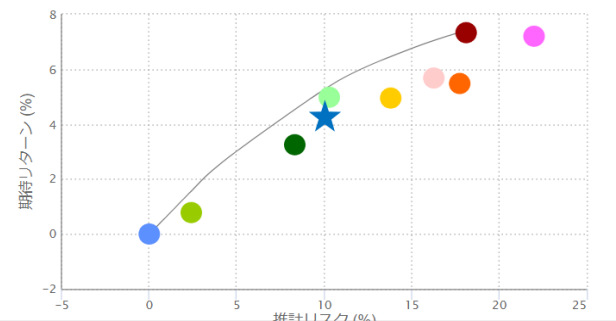
各資産の実績リターン（円建て、%）	過去6か月	過去6か月	過去1年	過去3年
日本株	11.0	17.4	34.5	43.7
米国株	11.3	18.0	39.5	89.3
欧州株	8.2	10.7	22.7	59.5
新興市場株	3.7	8.2	14.1	9.1
日本債券	0.3	4.9	4.3	-5.1
米国債券	2.0	5.4	14.0	26.6
米国投資信託	4.5	8.9	18.0	26.1
欧州投資信託	1.3	5.6	17.5	6.8
新興市場投資信託	1.7	6.4	19.2	16.4
先進国REIT	4.5	9.4	25.5	42.0
新興市場REIT	5.8	9.4	21.5	27.9
日本REIT	-4.0	-6.1	-2.0	-3.5
グローバルREIT	5.8	9.9	11.2	31.4
コモディティ	-4.3	-1.6	5.9	72.9
ヘッジファンド	2.7	6.1	14.9	43.0
ドム株	-0.3	2.6	12.1	41.7

注：リターンの計算には、日本株は日経平均株価、米国株はS&P500、欧州株はEURO STOXX 50、新興市場株はMSCI Emerging Markets Index、日本債券は日本国債、米国債券は米国国債、欧州債券は欧州国債、新興市場債券は新興市場国債、先進国REITは先進国REIT、新興市場REITは新興市場REIT、日本REITは日本REIT、グローバルREITはグローバルREIT、コモディティはコモディティ、ヘッジファンドはヘッジファンド、ドム株はドム株を示す。出所：Bloombergより当社作成

注：データは、先進国向けは先進国ハイ・イールド債券を示す。出所：後援機関。期待リターンは、先進国向けは先進国ハイ・イールド債券を示す。出所：後援機関。



推計リスク・期待リターン



5. お客様本位のコンサルティングの実践

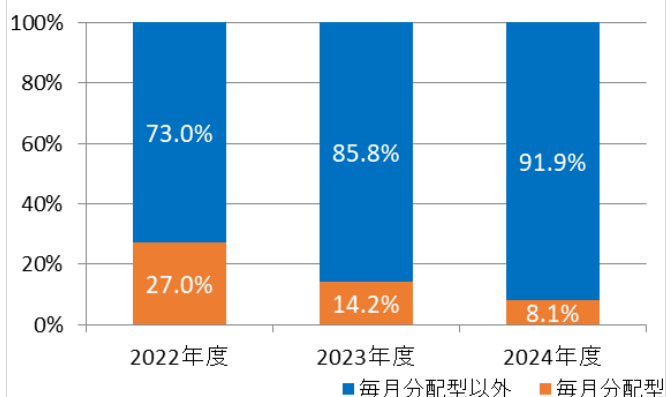
(1) お客様の最善の利益の実現を支援するため、グループ総合力を最大限に活用したコンサルティングを行ってまいります。

金融商品やサービスをご案内する際には、ご相談シートを使用し、お客様の知識や投資経験、財産の状況、投資目的に照らし、最適な金融商品やサービスをご提案できるよう努めております。

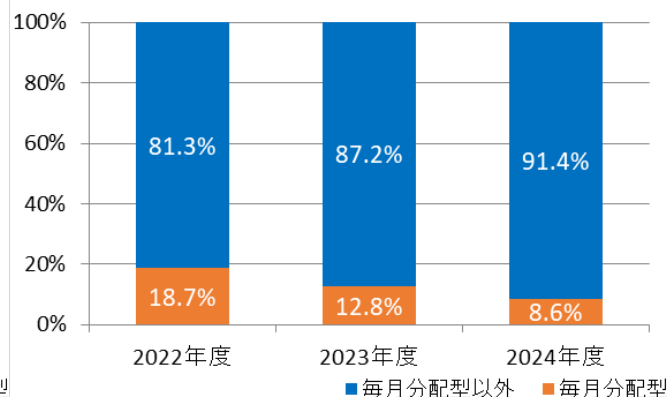
⑪投資信託販売額に占める毎月分配型の販売比率

お客様のご意向を十分確認した上で、お客様本位のご提案に努めております。投資信託販売において、毎月分配型の販売比率は、各社において約10%～60%となっております。

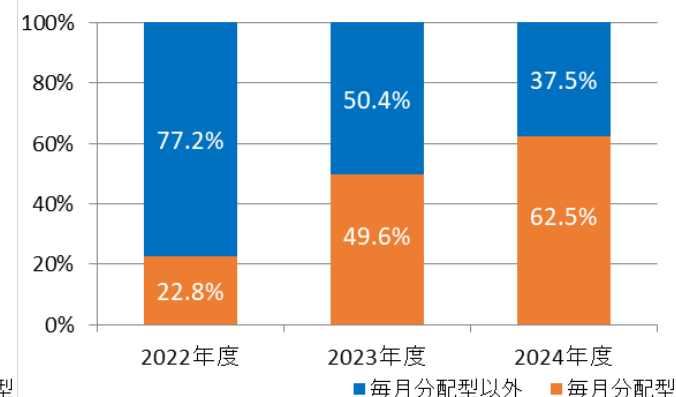
常陽銀行



足利銀行



めぶき証券

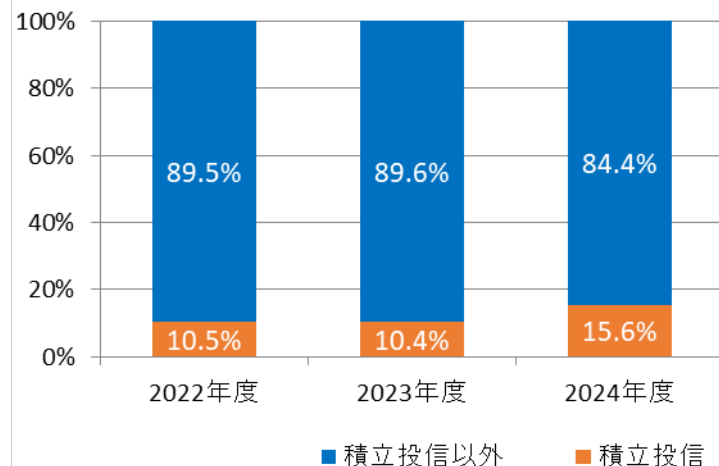


5. お客様本位のコンサルティングの実践

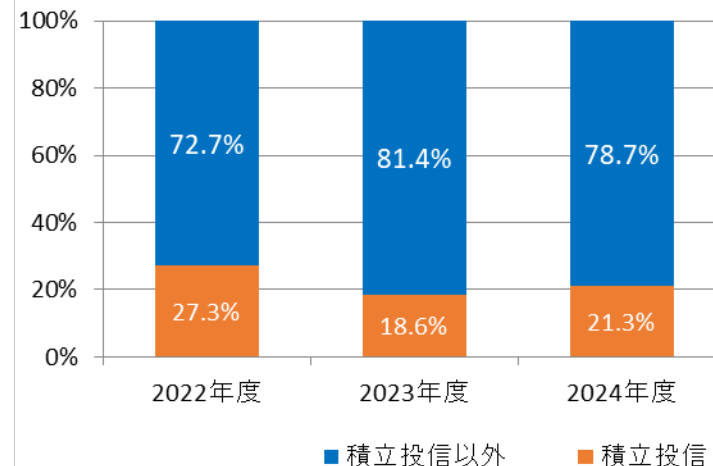
⑫投資信託販売額に占める積立投信の販売比率

長期安定的な資産形成のため、「時間の分散」の観点から、積立投資信託の提案を行っております。

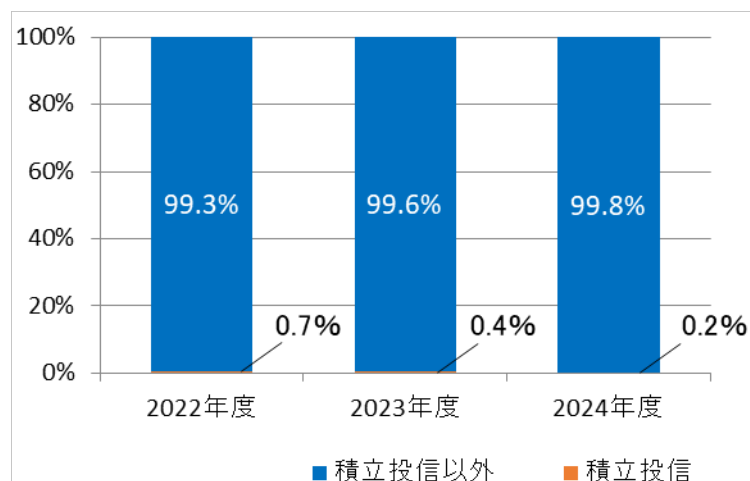
常陽銀行



足利銀行



めぶき証券



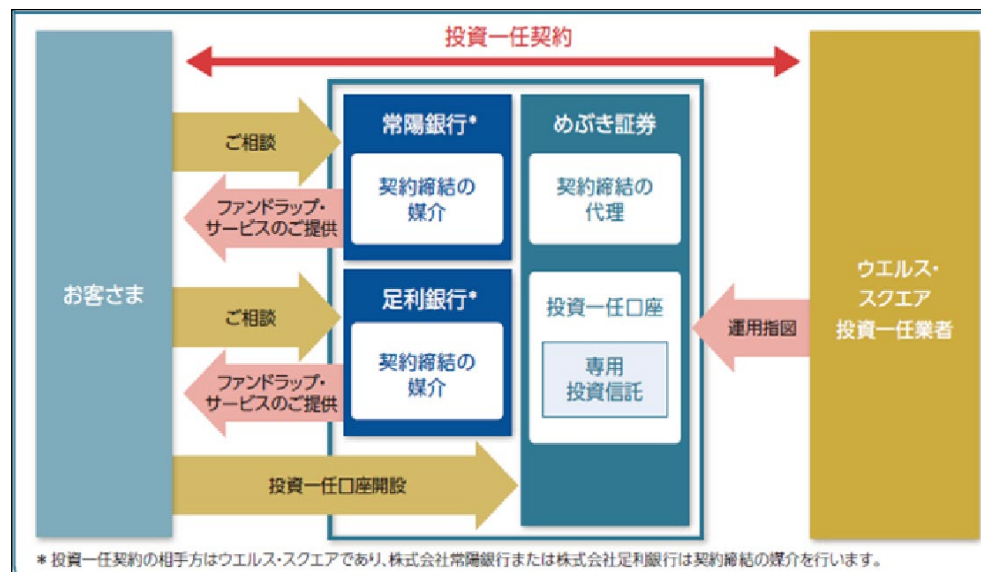
5. お客様本位のコンサルティングの実践

(2)多様化するお客様の目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

お客様のニーズやお客様のライフプラン等を踏まえ、銀行と証券会社のそれぞれの機能を積極的に活用し、最適な商品・サービスの提供に努めております。

めぶきファンドラップ

めぶきファンドラップは、お客様一人ひとりの財産の状況・運用の目的・将来の目標を共有した上で、ファンドラップの3つの特性「投資一任契約」「オーダーメイドでの運用コース設定」「定期的なフォロー体制」を活用し、お客様の目標達成を長期的にサポートするサービスです。



⑬めぶきファンドラップの契約者数・残高

	契約者数	契約金額
2023年3月末時点	3,931先	19,449百万円
2024年3月末時点	3,499先	20,898百万円
2025年3月末時点	3,461先	22,559百万円

5. お客様本位のコンサルティングの実践

(2)多様化するお客様の目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

⑭投資信託商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績

(2025年3月末現在)



カテゴリー	取扱数		2024年度増減		
		比率		新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)
国内債券	3	2.8%	▲1	0	1
国内株式	15	13.9%	1	1	0
国内リート	3	2.8%	0	0	0
海外債券	16	14.8%	▲2	1	3
海外株式	40	37.0%	7	8	1
海外リート	7	6.5%	0	0	0
バランス型	17	15.7%	▲6	1	7
ラップ型	5	4.6%	5	5	0
その他	2	1.9%	1	1	0
合計	108	100.0%	5	17	12
(内IB専用)	20		7	8	1



カテゴリー	取扱数		2024年度増減		
		比率		新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)
国内債券	2	1.9%	0	0	0
国内株式	10	9.4%	0	0	0
国内リート	2	1.9%	1	1	0
海外債券	18	17.0%	▲2	1	3
海外株式	47	44.3%	4	6	2
海外リート	4	3.8%	0	0	0
バランス型	20	18.9%	▲9	0	9
ラップ型	3	2.8%	0	0	0
その他	0	0.0%	▲2	0	2
合計	106	100.0%	▲8	8	16
(内IB専用)	29		0	0	0



カテゴリー	取扱数		2024年度増減		
		比率		新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)
国内債券	1	1.5%	0	0	0
国内株式	15	22.1%	1	1	0
国内リート	2	2.9%	0	0	0
海外債券	6	8.8%	0	0	0
海外株式	33	48.5%	2	2	0
海外リート	2	2.9%	0	0	0
バランス型	4	5.9%	0	0	0
ラップ型	0	0.0%	0	0	0
公社債投信	0	0.0%	0	0	0
その他	5	7.4%	0	0	0
合計	68	100.0%	3	3	0

5. お客様本位のコンサルティングの実践

(2)多様化するお客様の目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

⑮保険商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績

(2025年3月末現在)



カテゴリー	取扱数		2024年度増減		
		比率		新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)
定額個人年金保険(円建)	0	0.0%	0	0	0
定額個人年金保険(外貨建)	0	0.0%	0	0	0
定額個人年金保険(通貨選択)	3	6.8%	0	0	0
変額個人年金保険(円建)	0	0.0%	0	0	0
変額個人年金保険(外貨建)	0	0.0%	0	0	0
変額個人年金保険(通貨選択)	0	0.0%	0	0	0
一時払終身保険(円建)	4	9.1%	▲1	0	1
一時払終身保険(外貨建)	5	11.4%	▲2	0	2
一時払終身保険(通貨選択)	5	11.4%	1	1	0
個人年金保険(平準払)	4	9.1%	0	0	0
終身保険(平準払)	5	11.4%	1	1	0
収入保障保険	3	6.8%	0	0	0
定期保険	1	2.3%	0	0	0
学資保険	0	0.0%	0	0	0
がん保険	3	6.8%	0	0	0
医療保険	8	18.2%	0	0	0
認知症保険	1	2.3%	0	0	0
養老介護保険	2	4.5%	▲1	0	1
合計	44	100.0%	▲2	2	4



カテゴリー	取扱数		2024年度増減		
		比率		新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)
定額個人年金保険(円建)	0	0.0%	0	0	0
定額個人年金保険(外貨建)	0	0.0%	0	0	0
定額個人年金保険(通貨選択)	2	4.8%	▲2	0	2
変額個人年金保険(円建)	0	0.0%	0	0	0
変額個人年金保険(外貨建)	0	0.0%	0	0	0
変額個人年金保険(通貨選択)	0	0.0%	0	0	0
一時払終身保険(円建)	4	9.5%	0	0	0
一時払終身保険(外貨建)	1	2.4%	▲5	0	5
一時払終身保険(通貨選択)	7	16.7%	2	3	1
個人年金保険(平準払)	3	7.1%	0	0	0
終身保険(平準払)	3	7.1%	0	0	0
収入保障保険	4	9.5%	0	0	0
定期保険	2	4.8%	0	0	0
学資保険	1	2.4%	0	0	0
がん保険	4	9.5%	0	0	0
医療保険	8	19.0%	0	0	0
認知症保険	1	2.4%	0	0	0
終身保険(平準払・介護)	2	4.8%	0	0	0
一時払養老保険	0	0.0%	0	0	0
養老保険(平準払)	0	0.0%	▲1	0	1
合計	42	100.0%	▲6	3	9

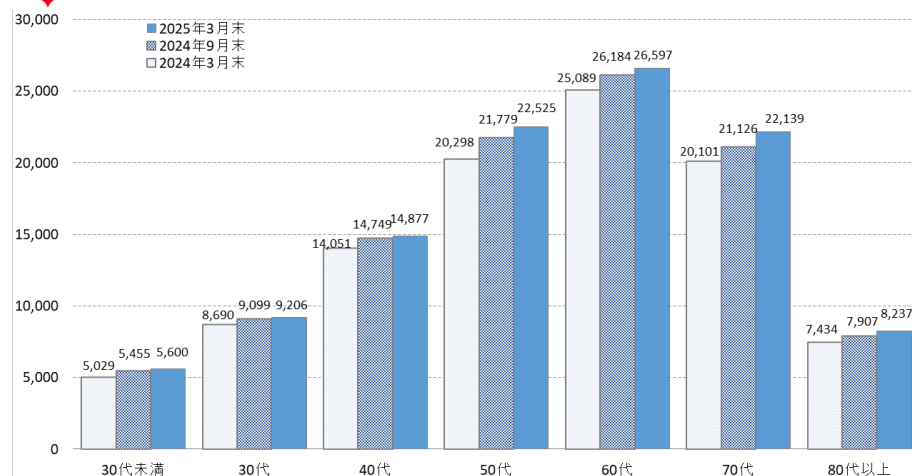
※めぶき証券は、保険商品の取扱はございません。

5. お客様本位のコンサルティングの実践

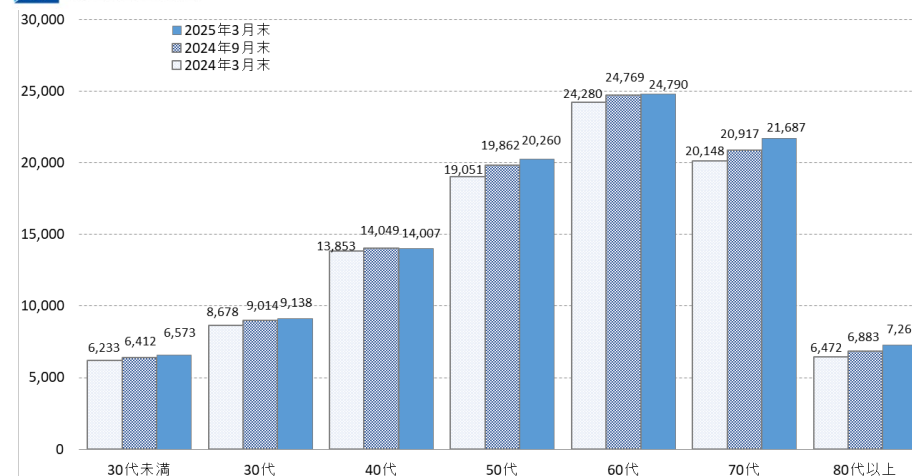
(2)多様化するお客様の目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

⑬年代別のNISA口座数

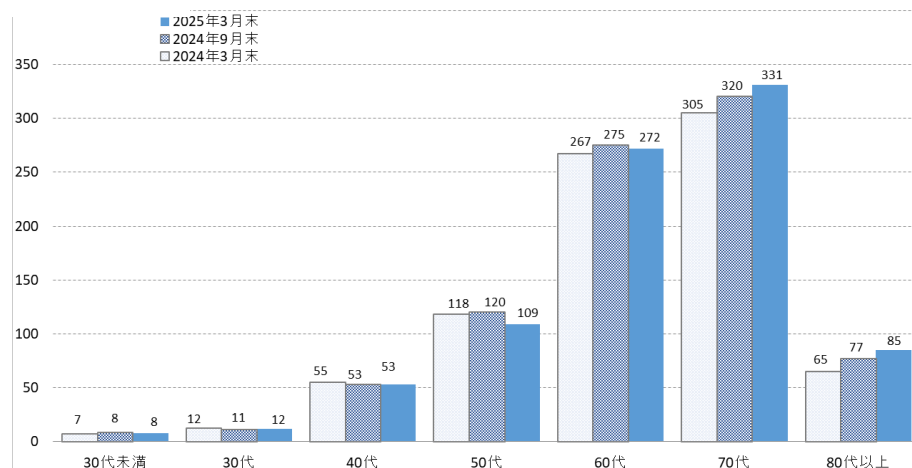
常陽銀行



足利銀行



めぶき証券



5. お客様本位のコンサルティングの実践

(3)お客さまとの接点となる多様なチャネルの整備・拡充により、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

休日相談チャネル

<マネー相談デスク> 常陽銀行

茨城県内8店舗では、土日も9:00~17:00まで資産運用や保険の見直しなどについてご相談いただけます。
(水曜のみ15:00まで/祝日・12月30日~1月3日は休業)



<休日セミナー・相談会> 足利銀行



非対面チャネル

<銀行取引アプリ> 常陽銀行 足利銀行

スマートフォンがあれば、銀行窓口でのお申し込み手続きなく、定期預金や外貨預金のお取引がご利用いただけます。



<あしぎんマネーデザイン>



スマートフォンやパソコンで、「いつでも、どこでも」金融商品取引が行えます。

SBI証券と損害保険ジャパンの“豊富な商品ラインナップ”から、商品をお選びいただけます。

	金融商品仲介口座数	残高
2023年3月末時点	2,345先	10,290百万円
2024年3月末時点	5,013先	24,183百万円
2025年3月末時点	6,681先	36,398百万円

5. お客さま本位のコンサルティングの実践

(4)運用状況や市場環境を踏まえたタイムリーな情報提供と丁寧なアフターフォローを行ってまいります。

投資信託や生命保険などの運用商品をご購入いただいたお客さまに対しましては、安心して運用いただけるよう、一定の基準を設けアフターフォローを実施しております。

特に相場急落時などは、お客さまにタイムリーな情報提供ができるよう努めております。2024年8月に発生した日経平均株価の急落と円相場の激しい変動時にも、速やかにアフターフォローを実施いたしました。

(5)お客さまの金融リテラシー向上に向けた取組みを行ってまいります。

お客さまに金融商品に対する理解を深めていただくため、各種セミナーを定期的を開催しております。2024年度は、地域の教育機関や自治体と連携したセミナーや学生を対象とした金融教室の開催にも注力いたしました。

⑰お客さまセミナー等の実施状況



セミナー等の内容	回数(回)	参加人数(人)
集合セミナー（本部主催）	9	560
オンラインセミナー（本部主催）	2	223
職域セミナー	2,082	16,753
合計	2,093	17,536



セミナー等の内容	回数(回)	参加人数(人)
集合セミナー（本部主催）	294	4,700
オンラインセミナー（本部主催）	11	730
職域セミナー	1,785	4,410
合計	2,090	9,840

お客さまのライフプランに沿ったセミナーや、お取引先企業の従業員様向けの各種セミナーに取り組んでいます。
また、小学生～高校生を対象とした「金融教室」を学校や教育機関にて実施しています。
(2024年度：49校、2,349人)

<高校生のための金融教室>

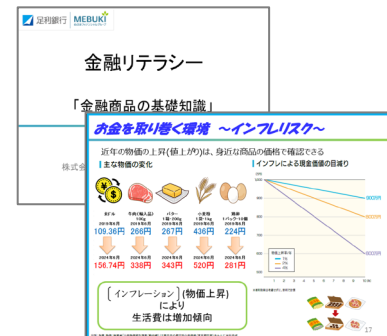
資産形成について考えてみよう



足利銀行の企業理念「豊かさの創造に寄与する」・「地域と共に生きる」に基づき、地域の金融リテラシー向上のための取組みを行っております。

(2024年度の開催実績(回数・参加人数))

自治体、教育機関向け金融教育等のセミナー	29回 2,010人
自治体等と連携した相続セミナー	22回 748人



6. お客様本位の販売態勢の整備

(1)お客様本位の営業活動を促す業績評価体系の整備を行ってまいります。

めぶきFGでは、お客様本位の業務運営に関する基本方針に基づき安定的な資産形成の実現へ貢献することが、お客様の最善の利益につながると考えております。

お客様本位の業務運営を更に浸透させるため、業績評価では、預り資産契約者数の増加を評価する項目や、投資信託の運用残高の増加等を評価する項目を設けております。

各社の業績評価体系について



地域の金融機関には個人のお客様に対する資産形成支援やNISA制度の浸透が期待されています。当行もこの動きにあわせ、NISA制度を活用した「長期・積立・分散」投資による資産形成を後押しすることで、「取引先数等の顧客基盤の拡充」や「残高増加による中長期的な収益基盤の確立」につなげていきます。

お客様が目指すゴールの実現を目的に、「預り資産の先数・残高」「NISA推進取組」を重視した業績評価体系としています。



お客様の安定的な資産形成、お客様の資産成長のサポートを目的として、資産残高の積み上げ（投資信託、ファンドラップ等）を重視しています。

また、ライフプランコンサルティングの考え方のもと、お客様のニーズや課題解決につながる幅広い金融サービス（生命保険等）の提供を評価項目としており、お客様の最善の利益につながる評価体制を構築しております。

なお、2024年度下期からは、各営業店が支店経営方針に基づく評価項目および評価内容を決定する「自主経営型」の業績評価制度に移行しており、お客様本位の業務運営の高度化につながる取組を実践しております。



お客様の目指すゴール達成に資する総合的な営業活動を重視しています。このため、お客様の目指すゴール達成に向けた中長期的な運用提案を継続していく活動を評価するものとして、投資信託残高の純増、商品販売額、顧客接触状況やアフターフォロー実施状況等を軸とした業績評価体系としております。

お客様の最善の利益の追求が担当者の評価に反映されるよう、今後も必要に応じて改善してまいります。

6. お客様本位の販売態勢の整備

(2)多様化・高度化するお客様ニーズにお応えするため、プロフェッショナルな人材の育成を行ってまいります。

めぶき F G では、プロフェッショナルな人材を育成するため、各種研修会の開催や外部資格の取得推進を行っております。

⑮ファイナンシャル・プランニング(F P)技能士資格保有者数の推移

常陽銀行

	2023年3月	2024年3月	2025年3月
FP1級	177名	187名	187名
FP2級	2,185名	2,226名	2,234名

足利銀行

	2023年3月	2024年3月	2025年3月
FP1級	165名	170名	175名
FP2級	1,453名	1,530名	1,565名

めぶき証券

	2023年3月	2024年3月	2025年3月
FP1級	6名	6名	9名
FP2級	27名	29名	29名

3 社合計

	2023年3月	2024年3月	2025年3月
FP1級	348名	363名	371名
FP2級	3,665名	3,785名	3,828名

(3)お客様本位の業務運営態勢の確保に向けたガバナンス体制の整備を行ってまいります。

お客様本位の業務運営に関する基本方針はめぶき F G 各社において、社内令達等により従業員への周知を図っております。また、半期毎に取組状況のモニタリングを実施し、実施・定着状況の確認を行っております。